



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
東

上場会社名 ギークス株式会社 上場取引所
コード番号 7060 URL <https://geechs.com>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 曾根原稔人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐久間大輔 (TEL) 050-1741-6928
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,968	9.3	237	20.1	204	11.2	164	△9.2	86	△24.6
2026年3月期第1四半期	6,373	9.4	197	84.2	183	127.9	180	114.7	114	94.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 89百万円(△17.2%) 2026年3月期第1四半期 108百万円(56.2%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用+退職給付費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	8.47	8.47
2026年3月期第1四半期	11.05	11.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,738	2,907	37.3
2026年3月期	7,852	3,054	38.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 2,887百万円 2026年3月期 3,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	15.00	—	17.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	13,600	5.5	380	△20.2	335	△23.5	320	△25.2	208	△39.5
通期	28,300	7.3	1,090	11.8	1,000	14.2	970	15.1	630	△2.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社(社名) - 、除外 1社(社名) 株式会社アライヴ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	10,330,709株	2026年3月期	10,330,709株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	171,200株	2026年3月期	171,200株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	10,159,509株	2026年3月期1Q	10,330,469株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、「日本をDX・AXでアップデートする会社」として事業を展開しております。AI技術の急速な普及や企業のDX推進によってめまぐるしく変化する社会において、これまで培ったITフリーランス・グローバル人材のネットワークやデジタル人材育成といった事業アセットを活かし、顧客企業の変革課題に向き合い伴走いたします。戦略から現場への落とし込みまでを担うDX・AX実装支援の提供と、サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、永続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社7社を含む全3事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業（国内）」、「IT人材事業（海外）」、「Seed Tech事業」の3つに分類されております。

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢を巡る不透明感や資源価格の上昇を受けた物価上昇の継続が消費者マインドの重荷となっており、金融政策の正常化に伴う金利上昇や金融資本市場の変動の影響もあることから、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは事業ポートフォリオの最適化を進め、これまで培ってきたITフリーランスや国内外の社員エンジニアの活用ノウハウを最大限発揮できるIT・DX・AI人材領域に特化した事業体制のもと、事業を推進してまいりました。AI技術の活用やデジタルトランスフォーメーション（DX・AX）の推進によって、国内のデジタル関連市場規模は今後さらに拡大することが見込まれます。当社グループは、これまで培ってきたIT・デジタル領域におけるフリーランス人材やグローバル人材のネットワーク、ならびにリスキリングを通じた人材創出機能といったアセットを武器に、顧客企業の変革課題に向き合います。常に変化し続ける「未完の完成」を目指す伴走者として、日本社会をアップデートし続け、新たな経済成長に貢献してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は6,968,556千円（前年同期比9.3%増）、営業利益は204,275千円（同11.2%増）、経常利益は164,146千円（同9.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は86,089千円（同24.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、2026年4月1日付で子会社間の合併を実施したことに伴い、従来「IT人材事業（国内）」に含めていた株式会社アライヴを「Seed Tech事業」に含めており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

<IT人材事業（国内）>

IT人材事業（国内）は、企業のAI/AX推進需要の高まりを背景に、高単価案件の獲得に注力した結果、売上高・利益ともに堅調に推移いたしました。当第1四半期連結会計期間におきましては、サービスモデルの再定義を推進し、「AX支援プラットフォーム」への進化を宣言いたしました。営業組織内に「AXデベロッパーチーム」を新設し、企業の課題定義からAI実装までを支援する体制を構築したほか、登録フリーランス向けにFDE（フォワード・デプロイド・エンジニア）やPM（プロジェクトマネージャー）へのリスキリングプログラムの提供を開始し、データベースの質的転換を進めております。また、統合型AIエージェント「GEECHS AI」の活用による業務プロセスの非属人化と効率化を徹底し、人員増に頼らない組織の構築に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は4,144,639千円（前年同期比2.7%増）、セグメント利益は360,325千円（同2.7%増）となりました。

<IT人材事業（海外）>

IT人材事業（海外）は、オーストラリアにおいて人材派遣事業やMSP事業（包括的な人材管理ソリューションを提供する事業）を展開しているLaunch Group Holdings Pty Ltdの業績を取り込んでおります。当第1四半期連結会計期間におきましては、安定的な収益基盤の構築を目指し、人材派遣事業の強化に取り組んでまいりました。従来のコスト削減施策に加え、営業リソースを中堅・中小企業向けの高マージン案件獲得へ集中させたことで利益率の改善が進み、着実な業績の進捗を見せております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は2,660,903千円（前年同期比23.0%増）、セグメント利益は27,749千円（前年同期はセグメント損失4,150千円）となりました。

<Seed Tech事業>

Seed Tech事業は、オフショア開発受託事業やデジタル留学事業、デジタル人材育成サービス「ソダテク」、および中小企業向けデジタル人材提供サービス「DX職 - デジショク -」を展開しております。当第1四半期連結会計期間におきましては、2026年4月付の株式会社アライヴとの吸収合併に伴い新体制でスタートいたしました。「DX職 - デジショク -」においては、計画に沿った体制構築と人材確保が進んでおり、中小企業向けの顧客開拓を一層強化いたしました。引き続き企業のDX・AI活用を強力にサポートし、社会課題の解決に貢献してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は184,981千円（前年同期比1.9%減）、セグメント損失25,567千円（前年同期はセグメント損失10,873千円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は前連結会計年度末と比較して61,467千円減少し、6,911,107千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産が106,282千円増加した一方で、現金及び預金が160,586千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は前連結会計年度末と比較して51,993千円減少し、827,471千円となりました。これは主にリース資産が10,084千円、のれんが9,021千円、繰延税金資産が18,937千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は前連結会計年度末と比較して96,114千円増加し、3,280,921千円となりました。これは主に未払費用が251,936千円増加した一方で、未払法人税等が146,155千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は前連結会計年度末と比較して61,949千円減少し、1,550,602千円となりました。これは主に長期借入金が66,783千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は前連結会計年度末と比較して147,626千円減少し、2,907,055千円となりました。これは主に利益剰余金が155,420千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,747,062	3,586,475
売掛金及び契約資産	3,113,585	3,219,868
前渡金	18,364	—
前払費用	75,629	82,769
その他	25,177	27,282
貸倒引当金	△7,245	△5,287
流動資産合計	6,972,575	6,911,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,526	800
車両運搬具（純額）	78	64
工具、器具及び備品（純額）	3,134	2,996
リース資産（純額）	88,425	78,340
有形固定資産合計	97,165	82,201
無形固定資産		
のれん	246,597	237,575
顧客関連資産	332,219	326,215
その他	1,000	962
無形固定資産合計	579,817	564,753
投資その他の資産		
投資有価証券	25,410	22,129
敷金及び保証金	86,358	86,723
長期前払費用	7,972	6,442
繰延税金資産	41,748	22,811
その他	40,992	42,409
投資その他の資産合計	202,482	180,516
固定資産合計	879,465	827,471
資産合計	7,852,040	7,738,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,263,640	1,265,956
短期借入金	130,707	125,805
1年内償還予定の社債	21,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	267,132	267,132
リース債務	50,566	47,918
未払金	252,329	246,484
未払費用	298,866	550,803
未払法人税等	208,711	62,556
未払消費税等	259,687	250,500
契約負債	74,330	83,902
預り金	314,863	326,649
資産除去債務	4,170	—
その他	38,798	37,210
流動負債合計	3,184,806	3,280,921
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	1,436,361	1,369,578
リース債務	58,069	49,127
繰延税金負債	78,602	91,554
退職給付に係る負債	13,866	14,089
資産除去債務	4,639	4,859
その他	15,013	15,394
固定負債合計	1,612,551	1,550,602
負債合計	4,797,358	4,831,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,112,414	1,112,414
資本剰余金	991,519	991,519
利益剰余金	939,983	784,562
自己株式	△99,973	△99,973
株主資本合計	2,943,943	2,788,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,028	△5,274
為替換算調整勘定	98,658	104,177
その他の包括利益累計額合計	95,630	98,902
新株予約権	15,009	19,541
非支配株主持分	98	87
純資産合計	3,054,682	2,907,055
負債純資産合計	7,852,040	7,738,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,373,634	6,968,556
売上原価	5,427,155	5,929,424
売上総利益	946,479	1,039,131
販売費及び一般管理費	762,721	834,855
営業利益	183,757	204,275
営業外収益		
受取利息	763	301
受取賃貸料	1,821	—
保険解約返戻金	4,590	—
その他	796	297
営業外収益合計	7,972	599
営業外費用		
支払利息	9,756	12,134
社債利息	103	87
為替差損	787	9,106
アドバイザー費用	—	19,241
その他	266	158
営業外費用合計	10,913	40,729
経常利益	180,815	164,146
特別利益		
新株予約権戻入益	2,270	—
特別利益合計	2,270	—
税金等調整前四半期純利益	183,085	164,146
法人税、住民税及び事業税	76,529	52,921
法人税等調整額	△5,954	25,146
法人税等合計	70,575	78,067
四半期純利益	112,510	86,078
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,670	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,181	86,089

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	112,510	86,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,910	△2,246
為替換算調整勘定	△6,768	6,118
その他の包括利益合計	△3,858	3,872
四半期包括利益	108,652	89,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,612	89,961
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,960	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

2026年4月1日において、当社の連結子会社である株式会社アライヴは、当社の連結子会社であるシードテック株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

当第1四半期連結会計期間において、NexSeed Inc. 及びSEED TECH PHILIPPINES INC. は、決算日を12月31日から3月31日に変更し、連結決算日と同一となっております。なお、当該子会社の2026年1月1日から2026年3月31日までの3か月分の損益については利益剰余金で調整する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 (注2)
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	Seed Tech 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,023,963	2,163,009	186,662	6,373,634	—	6,373,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,533	—	1,920	15,453	△15,453	—
計	4,037,496	2,163,009	188,582	6,389,087	△15,453	6,373,634
セグメント利益 又は損失(△)	350,714	△4,150	△10,873	335,689	△151,932	183,757

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△151,932千円には各報告セグメントに配分していない全社費用158,232千円及びセグメント間消去取引6,300千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 主要な地域別の売上高に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	Seed Tech 事業	計
売上高				
国内(日本)	4,023,963	—	186,662	4,210,625
豪州	—	2,163,009	—	2,163,009
外部顧客への売上高	4,023,963	2,163,009	186,662	6,373,634

(注) 外部顧客への売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 (注2)
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	Seed Tech 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,125,105	2,660,903	182,547	6,968,556	—	6,968,556
セグメント間の 内部 売上高又は振 替高	19,533	—	2,434	21,968	△21,968	—
計	4,144,639	2,660,903	184,981	6,990,524	△21,968	6,968,556
セグメント利益 又は損失(△)	360,325	27,749	△25,567	362,507	△158,231	204,275

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△158,231千円には各報告セグメントに配分していない全社費用161,562千円及びセグメント間消去取引3,331千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 主要な地域別の売上高に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	Seed Tech 事業	計
売上高				
国内(日本)	4,125,105	—	178,393	4,303,499
豪州	—	2,658,255	571	2,658,826
その他	—	2,648	3,582	6,230
外部顧客への売上高	4,125,105	2,660,903	182,547	6,968,556

(注) 外部顧客への売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2026年4月1日付で「IT人材事業(国内)」の株式会社アライヴを「Seed Tech事業」のシードテック株式会社に吸収合併いたしました。これに伴い、従来「IT人材事業(国内)」に含めていた株式会社アライヴの事業を「Seed Tech事業」に含めております。なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	10,396千円	19,701千円
のれん償却費	9,021千円	9,021千円

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

連結子会社間の吸収合併

当社は、2026年4月1日に、当社の連結子会社であるシードテック株式会社を存続会社とし、同じく連結子会社である株式会社アライブを消滅会社とする吸収合併を実施いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

①結合企業

名称	シードテック株式会社
事業の内容	IT人材育成事業、DX職-デジショク-事業、開発事業

②被結合企業

名称	株式会社アライブ
事業の内容	ITソリューション事業、IT技術者派遣事業、受託開発事業

(2) 企業結合日

2026年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

シードテック株式会社を存続会社、株式会社アライブを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

シードテック株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

営業ノウハウの共有による競争力の強化、重複業務の統合を通じた業務効率の向上およびコスト削減を行うことで、収益基盤の強化を図るため、本合併を行うことといたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。